

# 教育自立圏の構築と考え方

夢実現ひろさき教育創生事業から夢を育む独自の「教育自立圏」構築へ

平成24年度より、各中学校区に連携組織を設置し、小中連携教育、地域との連携・協働に取り組んできました。

弘前市立小・中学校の教育改革に関する基本方針(平成27年8月)

夢実現ひろさき  
教育創生事業

教育自立圏

義務教育9年間を貫く“学びと育ち”の環境づくり

地域とともにある学校の実現

縦の一貫

一貫教育

横の一貫

協働・協治

小中一貫教育

地域学校協働システム

# 教育自立圏を構成する2つの柱

	構成項目	ポイント	目的・効果
1	小中一貫教育	「連携」から「一貫」へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 未来を支える弘前っ子を育てます。</li> <li>○ 中1ギャップを含む学年間や学級間のギャップが緩和されます。</li> <li>○ 中学校区の教育力が高まります。</li> </ul>
2	地域学校協働システム		
	コミュニティ・スクール (学校運営協議会)	①学校運営基本方針の承認 ②学校運営等に関する意見 ③学校評価 (学校評議員からの移行) ④地域参画の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域との関わりを通して学ぶことで、担い手としての参画意識が高まります。</li> <li>○ 地域の人々の理解と協力を得た教育活動が充実します。</li> <li>○ 地域の教育力が高まります。</li> </ul>
	地域コーディネーター	①地域コーディネーターの配置により、学校と地域との協働活動の充実  ②ボランティア活動の充実	

# 【参考】調査研究期間における「教育自立圏」構築の体制

## 教育自立圏検討会議（年4回開催）

- 理事兼学校教育推進監（座長）
- 教育政策課長
- 学校づくり推進課長
- 学務健康課長
- 学校指導課長
- 教育センター所長
- 生涯学習課長
- 小・中学校長会長
- 調査研究校長 等

教育自立圏構想に係る総合的な調整を図る。

【総合アドバイザー】  
青森中央学院大学  
高橋 興 氏

（事務局）

学校づくり推進課

調査研究等の作業を行うための  
専門的な部会を設置する。

小中一貫教育システム作業部会

（ひろさき卍学含む）

構成員：調査研究校教員、市教委職員等

コミュニティ・スクール作業部会

（地域学校協働システム）

構成員：調査研究校教員、市教委職員等

小中一貫教育担当

各年3～4回  
開催

地域連携担当